

法政大学大学院 キャリアデザイン学研究科
セミナー&進学相談会

高校・大学・社会をつなぐ

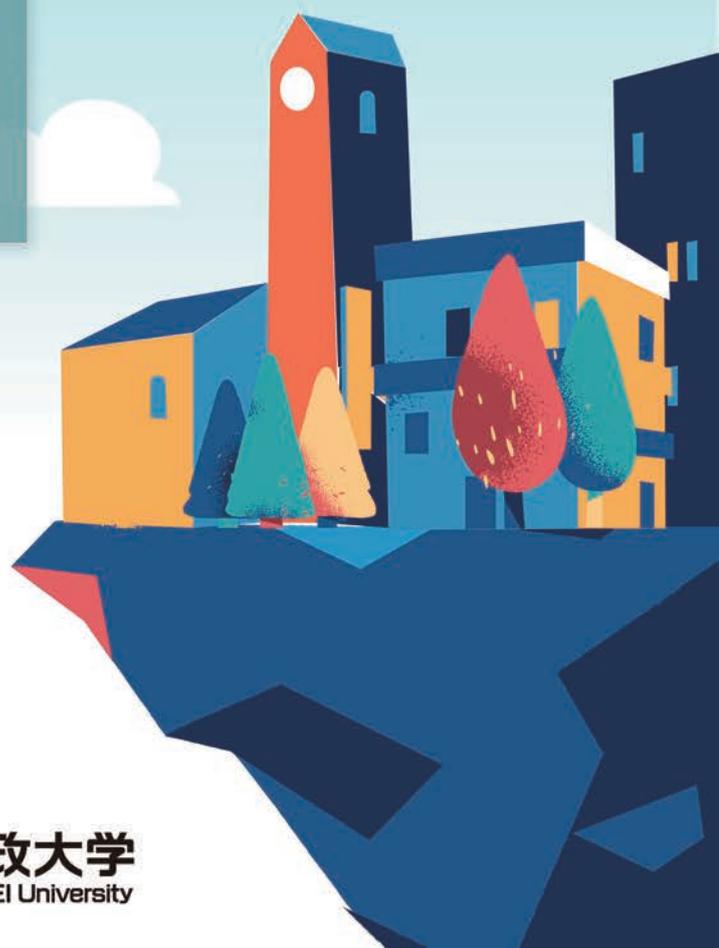
—若者のトランジション研究の最前線

溝上 慎一 京都大学高等教育研究開発推進センター教授
教育アセスメント室長

1970年生まれ。神戸大学教育学部卒業、
1996年京都大学高等教育教授システム開発センター助手、
講師、准教授を経て現職。京都大学博士（教育学）。
日本青年心理学会常任理事、大学教育学会常任理事、
“Journal of Adolescence” Editorial Board委員、
桐蔭学園教育顧問ほか

2018年10月20日(土)

法政大学市ヶ谷キャンパス
富士見ゲート5階
G501教室



キャリアデザイン学研究科 セミナー&進学相談会

2018年10月20日(土)
市ヶ谷キャンパス
富士見ゲート5階 G501教室

高校・大学・社会をつなぐ

—若者のトランジション研究の最前線

入場無料
(事前予約不要)

13:30~16:10

第1部 13:30~14:45 (13:00開場)

・開会挨拶

佐藤 恵

(法政大学大学院キャリアデザイン学 研究科長
兼 専攻主任)

・講演:「高校・大学・社会をつなぐ —若者のトランジション研究の最前線」

溝上 慎一

(京都大学高等教育研究開発推進センター教授,
教育アセスメント室長)

・質疑応答

第2部 15:00~16:10

・キャリアデザイン学研究科の紹介

坂爪 洋美

(法政大学大学院キャリアデザイン学研究科 専攻副主任)

・キャリアデザイン学研究科で学ぶ —社会人修了生の体験から

・小泉 拓也(文京学院大学 キャリア・社会教育センター)
2018年3月修了

・新佐 絵吏(株式会社浅野製版所 経営企画部)
2018年3月修了

21世紀を迎える頃から、日本の若者の「学校から社会へ」のトランジション・プロセスについての研究が盛んになってきました。その背景には、就職難、新卒無業や非正規雇用の増大、早期離職などの問題を含め、移行プロセスじたいが以前とは大きく変容し、多様化・複雑化・個人化・不安定化の様相を強めてきたという現実があります。

こうしたなか、高校と大学の接続、高校・大学と社会との接続を円滑に進めるための進路指導やキャリア教育・支援の取り組みも活発になってきましたが、これらは実際にどれだけの成果をあげてきたのでしょうか。理念ばかりが先行する実践や施策ではなく、実証的な研究に裏打ちされたいいないな検討が求められます。

そこで、第1部では、この分野における第一人者である溝上慎一教授をゲストにお呼びし、若者のトランジション研究の最前線についてお話しいただくことにしました。

第2部では、社会人大学院生としてキャリアデザイン学研究科に学び、修了後にはその成果を職場に還元している修了生のお二人から、本研究科での学びと研究に関わる体験談をお話しいただきます。

進学相談会

入場無料
(事前予約不要)

16:30~17:30

皆さまからの進学に関するご相談や、当研究科の授業・学習等についてのご質問に、キャリアデザイン学研究科の専任教員が個別に丁寧にお答えします。セミナーの途中からや、進学相談会のみのご参加も歓迎いたします。

会場までのアクセス



お問い合わせ

〒162-0843

東京都新宿区市谷田町2-15-2

法政大学大学院事務部大学院課

TEL: 03-5228-0551

E-mail: i.hgs@ml.hosei.ac.jp